



2025年3月期決算

伯東株式会社

2025年4月30日

連結業績概要

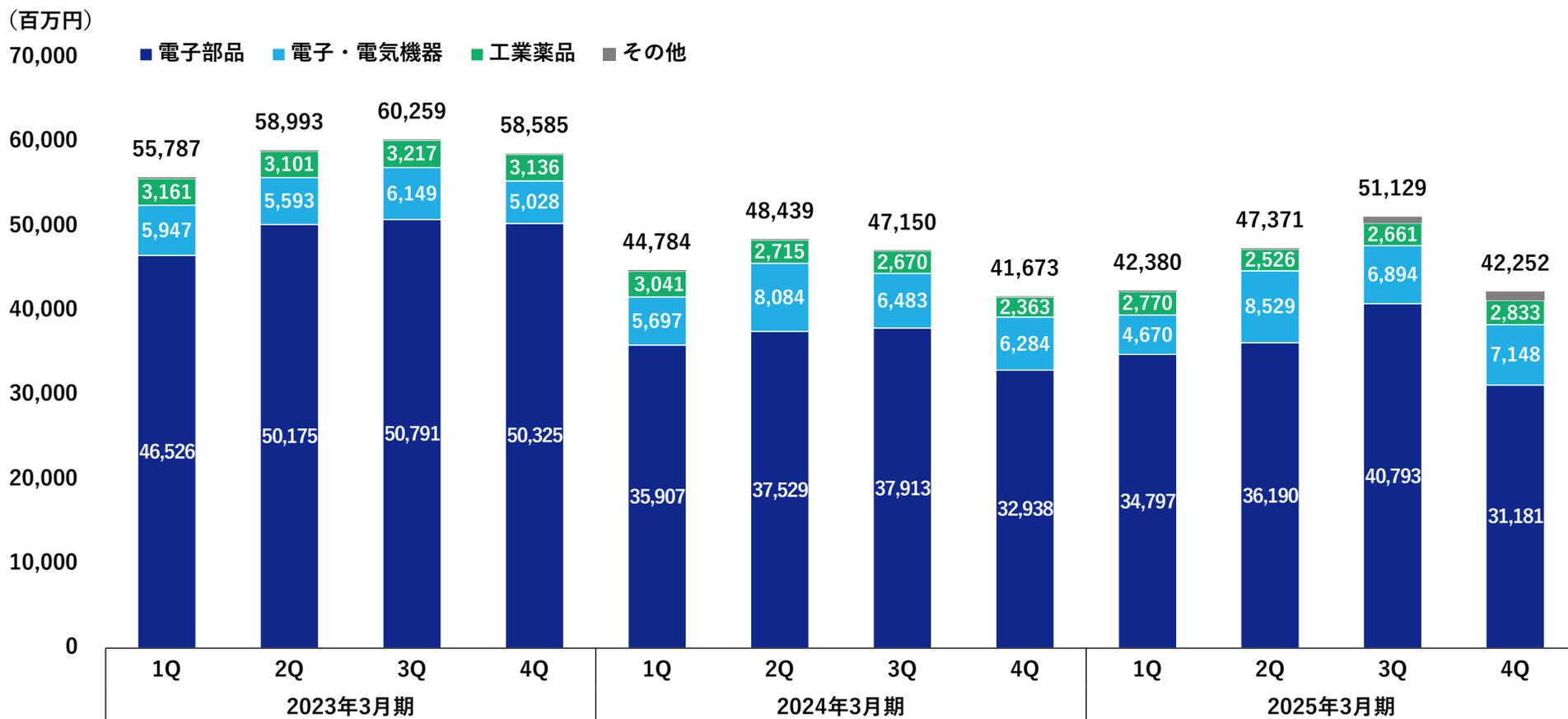
- 産業機器分野の在庫調整の長期化や工業薬品事業における顧客プラントの稼働率低下など、事業環境は低調ながらも、車載関連分野の販売増加により、前年同期比で増収・増益となる

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	182,046	183,133	+1,086	+0.6%	・ 車載関連分野の半導体デバイスの販売増加と新規連結子会社の損益取り込みにより増収
売上総利益	26,833	27,878	+1,045	+3.9%	・ 売上増加に伴う利益の増加
営業利益	7,636	7,913	+276	+3.6%	・ 売上総利益の増加により販管費の増加(子会社株式の取得関連費用、のれん償却費の発生等)を吸収
経常利益	6,912	7,321	+408	+5.9%	・ 受取配当金の増加
当期純利益	5,175	5,131	△ 44	△0.9%	・ 税金費用の増加に伴う利益の減少
EPS [※]	276.20	272.76	△ 3.44	-	

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結売上高の四半期推移

- 電子部品：車載向け半導体デバイスは25/3期3Qの一括販売により4Qは反動減。生成A I 関連(サーバー、インフラ)やO A 機器分野は堅調推移
- 電子・電気機器：P C B 関連機器は顧客の設備投資抑制により販売減も、パワーデバイス向け関連機器が前年度受注分の出荷により増収
- 工業薬品：石油・石化向け工程添加剤及び海外向け化粧品原料は緩やかに回復



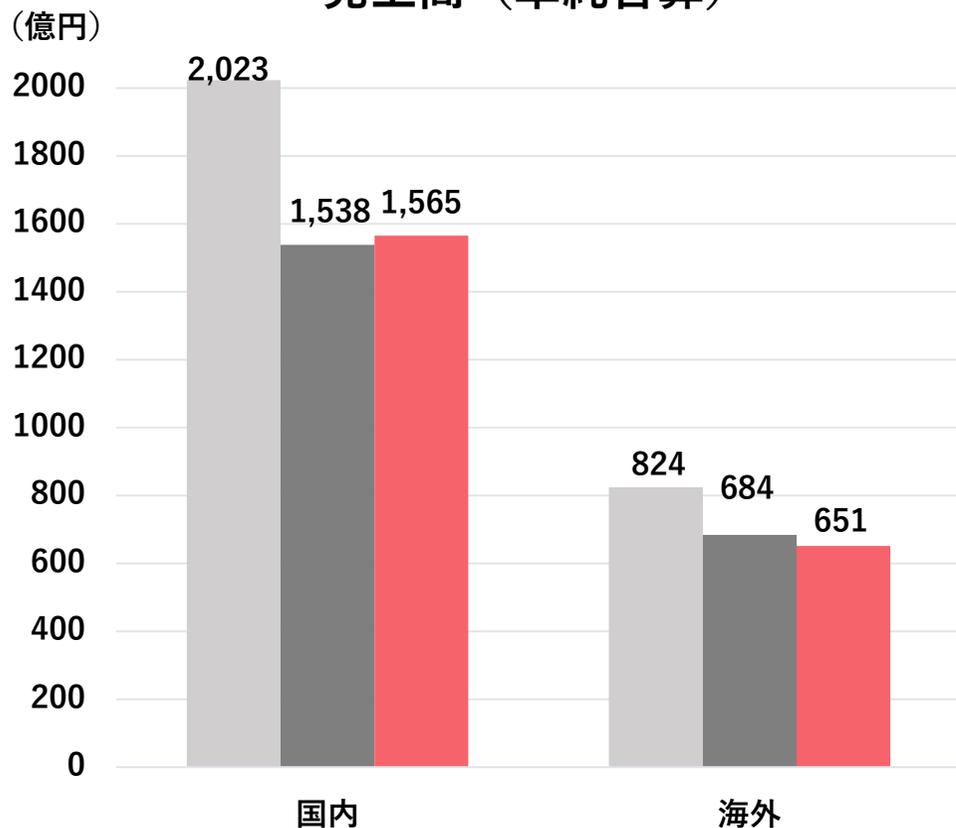
セグメント別業績

- 電子部品の減少を電子・電気機器とその他セグメントが補完し、全体では増収・増益で推移
- その他セグメントは新規連結子会社の損益取り込みにより増収・増益

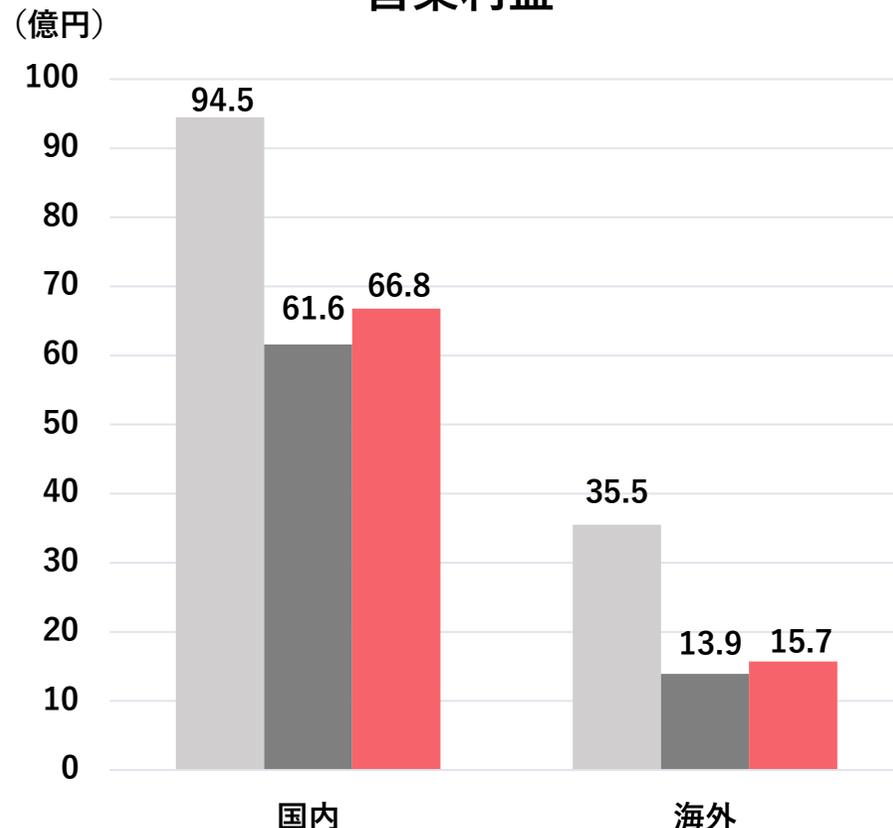
(百万円)		2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		
				増減額	増減率	
電子部品	売上高	144,287	142,961	△ 1,325	△0.9%	電子部品 ・ 車載向け半導体デバイスは増収も、産業・工作機器及びモバイル分野は減収
	セグメント利益	5,929	5,239	△ 689	△11.6%	
電子・電気機器	売上高	26,547	27,241	+693	+2.6%	電子・電気機器 ・ パワーデバイス向け関連機器の販売増により、増収・増益
	セグメント利益	1,777	2,498	+720	+40.6%	
工業薬品	売上高	10,788	10,789	+1	+0.0%	工業薬品 ・ 売上高は前期並みも、海外新規事業の立ち上げによる経費増により減益
	セグメント利益	35	△ 9	△ 45	-	
その他	売上高	1,090	2,560	+1,470	+134.8%	
	セグメント利益	35	131	+95	+272.1%	
合計	売上高	182,714	183,553	+839	+0.5%	
	セグメント利益	7,777	7,859	+81	+1.0%	

※売上高はセグメント間内部取引消去前（同一セグメント内取引は相殺済）の金額

売上高（単純合算）



営業利益



■ 23/3期実績 ■ 24/3期実績 ■ 25/3期実績

国内（伯東+連結子会社3社）

伯東、モルデック、HAL、クリアライズ

海外（連結子会社9社）：

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

連結貸借対照表

- 棚卸資産の圧縮と政策保有株式の縮減により総資産が減少
- 運転資本の減少に伴う有利子負債の減少により総負債が減少

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額	
総資産	137,759	130,376	△ 7,383	
現預金	15,568	14,929	△ 639	・ 連結CF参照
売上債権	44,378	45,795	+1,417	・ 売上の増加に伴い増加
棚卸資産	56,148	44,484	△ 11,664	・ 商品の出荷により減少
投資有価証券	8,670	8,333	△ 337	・ 保有株式の売却により減少
総負債	71,825	64,829	△ 6,996	
仕入債務	24,268	17,571	△ 6,697	
有利子負債	36,484	35,282	△ 1,202	・ 運転資本の減少に伴い減少
純資産	65,933	65,546	△ 387	・ 株主配当により利益剰余金が減少 ・ 保有株式の売却に伴い其他有価証券評価差額金が減少
自己資本比率	47.9%	50.3%	—	

キャッシュ・フロー計算書

- 棚卸資産の減少等により、営業キャッシュ・フローは105億円の収入
- 子会社株式の取得による支出等により、投資キャッシュ・フローは45億円の支出
- 短期借入金の返済や配当金の支払い等により、財務キャッシュ・フローは65億円の支出

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	増減額	
営業キャッシュ・フロー	8,712	10,589	+1,876	・ 税前利益+75億円、売上債権の増加△12億円、棚卸資産の減少+117億円、仕入債務の減少△67億円
投資キャッシュ・フロー	876	△ 4,568	△ 5,445	・ 子会社株式の取得による支出△37億円、有形・無形固定資産の取得△10億円
財務キャッシュ・フロー	△ 11,451	△ 6,507	+4,943	・ 短期借入金の返済による支出(純額)△29億円、長期借入による収入(純額)+17億円、配当金の支払△50億円
換算差額	680	△ 152	△ 832	
現金・現金同等物の増減額	△ 1,182	△ 639	+543	
現金・現金同等物の 期末残高	15,568	14,929	△ 639	

2026年3月期 連結業績予想

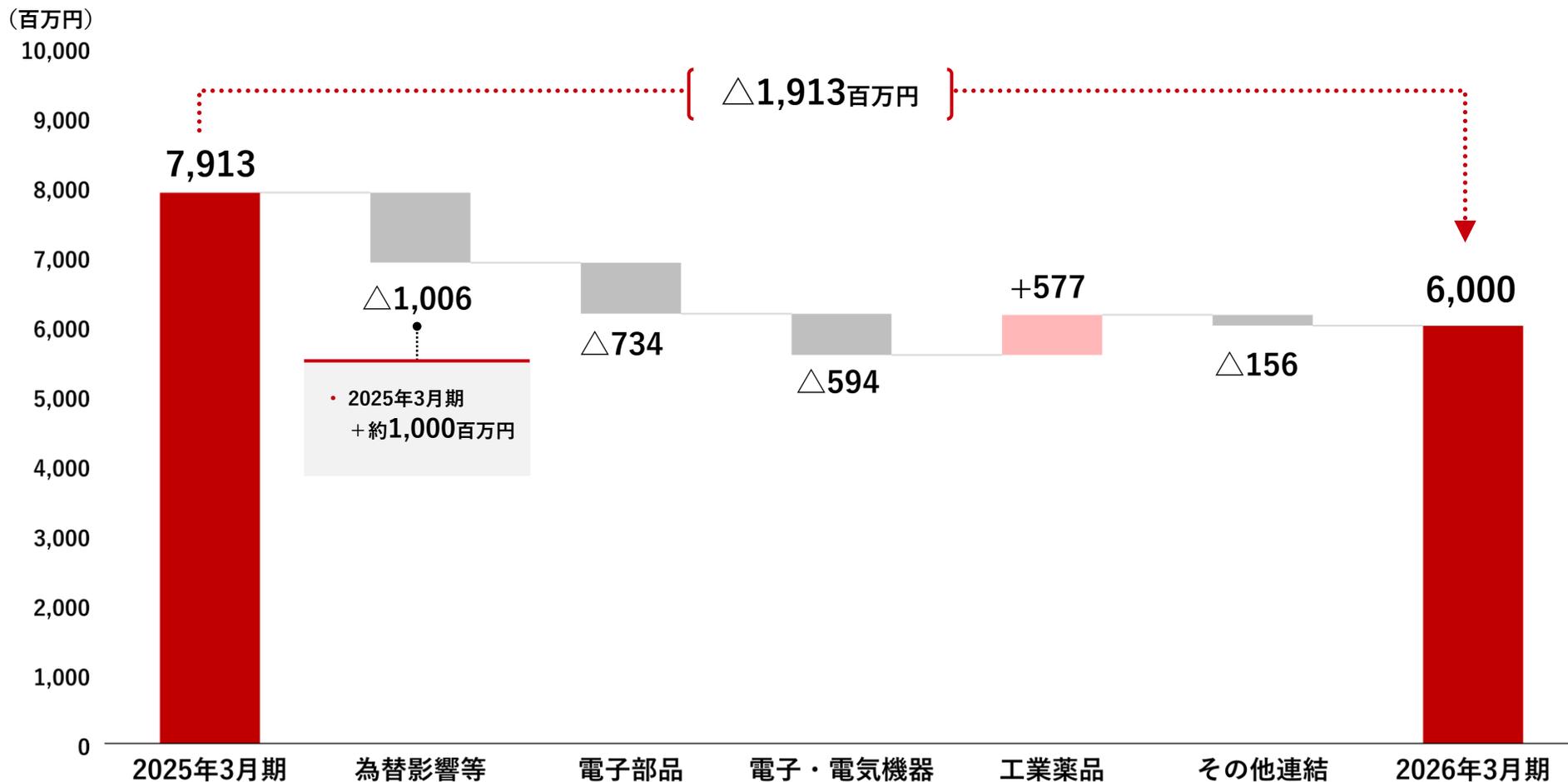
- 中国市場低迷や在庫調整継続、半導体市況もAI関連以外は低調。回復は26/3期下期以降を見込む
- 25/3期の利益押し上げ要因となった為替影響は26/3期予想に織り込まない一方、政策保有株式の売却益を見込み、当期純利益は対前年比微減を予想

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期			前年比	
	実績	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	183,133	86,000	100,000	186,000	+2,866	+1.6%
売上総利益	27,878	12,150	14,550	26,700	△ 1,178	△4.2%
営業利益	7,913	2,000	4,000	6,000	△ 1,913	△24.2%
経常利益	7,321	1,800	3,900	5,700	△ 1,621	△22.2%
当期純利益	5,131	1,700	3,200	4,900	△ 231	△4.5%
EPS [※]	272.76円	—	—	260.41円	△12.35円	—
ROE	7.8%	—	—	7.5%	△0.3pt	—

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因

- 半導体は顧客の在庫調整と需要低迷が継続、パワーデバイス向けの設備投資も鈍化
- 工業薬品は化粧品需要の回復と環境及び電子産業分野の事業拡大を見込む
- 25/3期は円安進行による為替影響約10億円のプラス



2025年3月期期末配当 及び2026年3月期配当予想

- DOEの導入による安定的な株主還元：新中期経営計画(2026年3月期～2029年3月期)の配当指標として、配当性向70% (±5%) またはDOE5%のいずれか高い方を配当額の目安とする

			2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
1株当たり配当金	中間	(円)	140	130	100
	期末	(円)	140	130	100
	年間	(円)	280	260	200
配当金総額	年間	(百万円)	5,259	4,892	—
配当性向		(%)	101.4	95.3	76.8
純資産配当率 (DOE)		(%)	8.1	7.4	5.7

・ 1株当たりの期末配当金は130円、年間配当金は期初計画通り260円

・ 1株当たりの年間配当金は200円を予想



IRに関するお問い合わせ先

経営企画部  03-3225-8931

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。